

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.89 令和6年2月9日発行

ふくしまインフラツーリズム推進事業 令和5年度 第4回モニターツアー



福島県土木部では、インフラ施設を観光資源として活用する「インフラツーリズム」に取り組んでいます。令和4年度に県の重点事業としてスタートし、福島市西部地域でのモニターツアーやモデルコース造成、そして3月にはポータルサイトを開設しました。令和5年度は県内全域に取組を拡大し、各地域ならではのモデルコースを造成するため、浜通り・会津地方を中心にモニターツアーを計4回開催しています。

今回は、令和5年度の第4回目となる **モニターツアー（会津）** の様子をご紹介します！

【実施日】

令和5年10月28日（土）～29日（日）

【場 所】

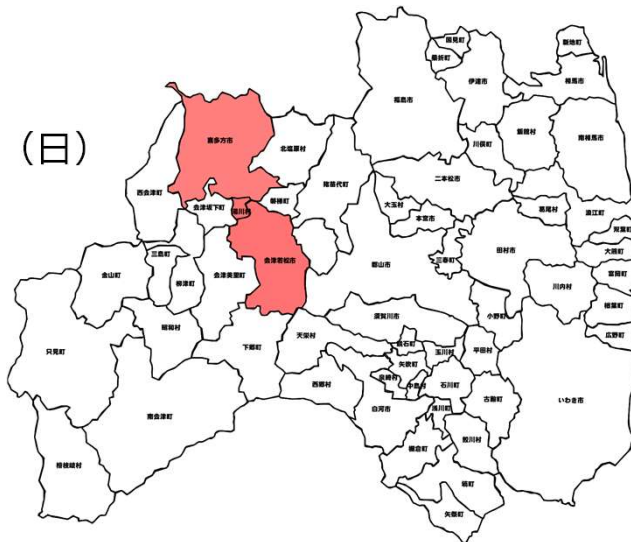
会津若松市、喜多方市、湯川村

【参加者】

県内外の10代から70代までの12名

（男性3名、女性9名）

県のホームページ、JTBのメルマガにより、一般のモニター参加者を募集しました。



【概要・行程表】

10月28日(土)

- 11:30 会津若松駅(発)
- 12:00~13:30 喜多方街歩き(昼食)
- 14:00~14:20 一ノ戸川橋梁
- 14:40~15:30 山郷ダム 見学
- 16:30~16:30 道の駅あいづ湯川・会津坂下
- 17:00 東山温泉 原瀧(泊)



10月29日(日)

- 9:30 東山温泉 原瀧(発)
- 9:30~10:00 あががわ木炭庵ひろば 見学
- 10:15~11:10 鶴ヶ城
- 11:20~13:30 七日町通り 昼食・散策・買い物
- 13:40 会津若松駅(着)



①山郷ダム

山郷ダムは、阿賀川が会津盆地と新潟平野との間の山間部を貫流する所に設けられた東北電力（株）の所有するダム式発電所です。ダム操作橋の中を一般の方でも通行することができる数少ないダムであり、巻上機などの設備を近くで見ることができます。

今回のツアーでは、山郷ダムの操作橋を通り、発電所内の施設見学を行いました。



参加者の声

- ダムは外部からしか見たことがなく、また、そのダムも国や県などが建てている大規模な貯水のための大きいものが主であったが、それらとは違った水力発電用のダムを、内部から見学し、非常に良い機会となったと同時に、私達の生活の基盤である電力供給について学びが深まった。

▲一般の方でも通行できるダム操作橋

参加者の声

- 水門や水門を上げ下げできるワイヤーを見ることができたことで、実際の水門の巨大さ、重さを体感し、私達に電力を供給するというミッションの重大さ、スケールの大きさを感じることができた。



②あががわ木炭庵ひろば

「あががわ木炭庵ひろば」は、湯川放水路水環境整備事業の一環として、地域の皆さんに河川の環境について知ってもらうため、炭焼窯である「木炭庵」の周辺を公園として整備したものです。

施設内は、河道内の伐採樹木のリサイクルに関する「木炭庵製造体験広場」、ひろばで焼いた炭を有効活用している「水質浄化観察広場」、身近な遊び場を使って水防を学べる「水防体験広場」、河川に関する様々な情報を発信している「情報広場」の4つのスペースに分かれており、河川のことについて広く学ぶことができます。



▲水質浄化体験



▲炭焼き見学



▲災害対策車見学・操作体験

参加者の声

- ・ 木炭の水質浄化のシステムについて、説明や簡易装置でのシュミレーションを通して深く理解することができた。
- ・ 簡易装置を使った説明や、車両の説明、また、歴史の説明など非常にわかりやすく、今まで知らなかった木炭の水質浄化について学ぶことができただけでなく、生活用水の浄化過程について学ぶことができたことで、伐採木材の有効活用など、環境にもいいと知り、インフラのこれからの可能性を認識することができた。

③モニターツアー全体について（参加者アンケートの声）

Q. インフラツーリズムに対して参加前どのような印象でしたか？また、参加してその印象はどのように変わりましたか？

- ・ 大きな施設でなくても身近なところにたくさん施設があるんだなと感じましたし、それらが生活を支えているんだなというのを理解出来た。
- ・ はじめてだったのであまりイメージが湧いていなかった。学びあり発見あり観光ありで面白いと感じました。地元のインフラがどうなってるのかなと気になった。
- ・ 普段の生活ではなかなか見ることが出来ない部分を見ることが出来て、すべてが興味深いツアーだった。私たちの生活に直結するものも多く、見応えがあり、災害時など対応も伺うことができて大変勉強になるツアーだった。

Q. ツアー全体をとおして、必要な工夫・アイデアがあれば教えてください。

- ・ 子供の興味を惹くものや勉強となることが多ければ参加する子供も増えて、全体的に明るく良いツアーになるのかなと思った。そうすると、大人もさらに楽しめると思う。
- ・ 橋梁を見るのなら、実際にその電車に乗る体験があるといいのかなと感じました。

✎ 編集後記 ✎

今回のモニターツアーは、インフラと地域との繋がりを体感していただける内容となりました。

東北電力様にご協力いただいた山郷ダムは、普段は見学できない施設内部を特別に案内していただき、発電の仕組みや電力供給の重要性を学べたほか、発電施設の騒音に配慮して全員にインカムを準備していただいたため、設備の説明や安全面の注意点などガイドと密なコミュニケーションが取れたことが、参加者の皆様からとても好評でした。

また、喜多方や七日町通りでは、まちの歴史に加えて、景観に配慮した街並み整備や無電柱化など、観光地のまちづくりというインフラ視点でも街歩きを楽しんでいただけました。

モニターツアーなどのスポット的なイベントではインフラ施設側も十分な準備ができますが、将来的に団体ツアーや個人見学を受け入れていくためには、職員以外のガイド確保など、負担が少なく続けていくための環境整備が必要になりますので、引き続き検討していきたいと思っております。

モニターツアーの様子や県内のインフラ施設については、こちらのポータルサイトで紹介していますので、ぜひご覧ください！



ふくしまインフラツーリズムポータルサイト
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/infra/>

【まちづくり瓦版発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

○TEL 024-521-7511

○FAX 024-521-7956

○e-mail

machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

○URL

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/>